

# 炎の人パウロ

(2003年度『牧羊者』夏期学校教案)

「あなたには、わたしがついていく。」(使徒行伝18:10)

第1課 やみから光へ(使徒行伝 9:1~19)

第2課 炎の宣教(使徒行伝18:1~11)

第3課 義の冠が(Ⅱテモテ 4:1~8)

「できるだけ早く、夏期学校の教案がほしい」との声にお答えして、二〇〇三年度『牧羊者』第Ⅱ巻とともに発送できますことを感謝いたします。早速、教案について説明させていただきます。

## 一、装丁について

今回も、局で作製したものを、各教会に1部ずつお送りします。必要な部数をコピーして下さい。特にワークは、生徒の数にしたがって、何枚コピーしていただいても結構です。

夏期学校は、小学生が主なメンバーになると思いますので、ワークは、1・2年生を対象にした「下級」、3・4年生向けの「中級」、5・6年生を想定した「上級」の3種類を用意しました。

しかし、下級でも、中級・上級を挑戦したい子どもたちもいると思います。ぜひ、子どもたちの教会生活の長短や学年、理解力の程度に応じて、先生方が選んで与えて下さい。

## 二、カリキュラムについて

新約聖書から「パウロ」を選び、一九九〇年六月の『牧羊者』に掲載されたものをベースに、4人の執筆者でまとめました。

夏期学校は、子どもたちひとりひとりとゆっくり交わり、語り合える最高のときです。交わりの

中で、ふと自分の心の悩みを相談してきます。イエス様と共に明るく楽しい時間を過ごし、何でも語り合い、祈り合うことは、とても素晴らしい恵みです。

今年度の教案の第一課は、罪を悔い改め、十字架の血によって罪が赦され、神に向かって歩みだすことを学びます。第二課では、キリストに励まされて、滅び行く人に福音を伝えることを教えます。そして、第三課は、神の面前に立つ日まで、迫害と困難の中でも戦い抜こうと励まします。

ひとりひとりの子どもが、パウロのようにイエス様にお会いし、パウロのように、イエス様のことを伝える小さな伝道者に導かれるように、共に祈りましょう。お互いの働きのために祈り合うとき、すばらしいことがなされることでしょう。

## 三、執筆担当者

メッセージ例 長谷川 和雄師

下級ワーク 三村 百合子師

中級ワーク 長谷川 宣恵師

上級ワーク 朝川 清英師

ご多忙の中、ご協力とお祈りをいただき、心より感謝いたします。

## 第一課 やみから光へ

聖書 使徒行伝 九・1～19

暗唱聖句 「御子イエスの血が、すべての罪から

わたしたちをきよめるのである。」

(一ヨハネ 一・七)

目標 罪を悔い改め、十字架の血によって罪が赦され、神に向かつて歩み出そう。

### 導入

みんなは、「自分にはとっても意地悪な心があつて嫌だな」、「みんなと楽しく遊びたいな」、「神様が私の心を変えてくれて、みんなと仲良くなれたら嬉しいのにな」と思ったことはありませんか。

### ストーリーを語る

ユダヤ教に熱心なサウロは、クリスチャンを全滅させてやろうと、息をはすませながら、エルサレムの大祭司のところへ行きました。それはエルサレムから210kmも離れたダマスコまで逃げていったクリスチャンを見つけ出し、男であろうが女であろうが縛り上げて、エルサレムに連れて来てもよいという手紙を書いてもらうためでした。サウロは神様を信じているといいながら、やみの生活をしていました。

サウロの一行がダマスコの近くまで来たときのことです。突然、天からまばゆい光に照らされて、地に倒れこんでしまいました。みんな驚いて口もきけないほどでした。その時、「サウロ、サウロ。なぜわたしをいじめるのか」という声がしました。「いったいどなたですか」と叫ぶと、「あなたが

へ行き、わたしの命令を待っていないさい。」サウロはその声を聞き、クリスチャンたちが言っていた、復活のイエスではないかと驚きました。

ようやくパウロは起き上がりましたが、目が見えません。一緒にいた人たちがサウロの手を引いて、やっとの思いでダマスコへ行きました。着いてから三日間、目が見えないまま、何も飲んだり食べたりしませんでした。

さて、ダマスコにはアナニヤという熱心なクリスチャンが住んでいました。主は幻の中で彼に、「さあ、サウロのところへ行きなさい。彼に手をおくと、もどおり見えるようになります。サウロはイスラエル人ばかりでなく、世界中の人々や王様たちに、わたしの名を宣べ伝えるために、わたしを選んだ人なのです。」

アナニヤは、サウロが自分たちを捕らえるためにダマスコに来ることを知っていました。しかし、主のおっしゃるとおりにはサウロのところへ出かけていき、彼に手を置きました。「サウロさん。私がイエス様の言いつけでここに来たのは、あなたがもう一度見えるようになり、また、聖霊に満たされるためです。」

するとどうでしょう。サウロの目からうろこのようなものが落ちて、もどおりに見えるようになります。さらに、心の目も開かれ、サウロは神様の前に、自分がやみの生活をしていたことに気づかされたのです。たくさんクリスチャンをいじめてきたことが、復活の主をいじめることで、神様に逆らうどんなに大きな罪であったかを悟りました。

そして3日祈った後、サウロは主の名によって洗礼を受け、クリスチャンになり、光の生活が始まりました。アナニヤたちと仲良く食事をし、すっかり元気になったサウロは、「イエス様こそ神の子・キリストです」と諸会堂で宣べ伝えました。

### 学ぶべき真理

復活されたイエス様は、サウロのようにたくさんクリスチャンをいじめていた人をも愛して、イエス様のほうから近づいて下さいました。イエス様の十字架の血潮は、どんな罪をもきよめて下さるのです。

### 生活の適用

あなたは、サウロのように友だちをいじめたり、いばったり、ばかにしたり、お父さんやお母さんに逆らったりしていませんか。また、うそをついたり、盗んだりして、真つ暗やみの生活をしてはいませんか。イエス様は、あなたのことを何でも知っておられます。あなたはその罪を持ったままでもいいのかな。イエス様を信じ頼るなら、そんなあなたの心を変え、友だちと仲良くしたり、お父さん、お母さんを愛する光の生活に変えて下さいます。(ヨハネ八・12)

### 結論

あなたは、自分が罪人であると分かったら、今日、イエス様に罪を告白し、「イエス様の十字架の血潮は、私の罪のためです。」と信じて言い表し、罪を赦していただき、主にあって、神様に喜ばれる新しい歩みをしましょう。(一ヨハネ一・7～9)

## 第二課 炎の宣教

聖書 使徒行伝 十八・1-11

暗唱聖句

「恐れるな。語りつづけよ、黙っているな。あなたには、わたしがついてい

る。」（使徒行伝 十八・9、10）

目標 キリストに励まされて、滅び行く人に福音を伝えよう。

### 導入

みんなは、イエス様のことをお友だちに伝えることができるかな。とっても勇気がいるよね。からかわれたり、意地悪されたりするかもしれないものね。

さて、復活されたイエス様に会い、クリスチャンになったパウロはどうだったかな。

### ストーリーを語る

サウロ、またの名をパウロが、色々な所でイエス様のことを宣べ伝えるはじめてから、約20年が経ちました。その間、イエス様を信じる人も多くなったのですが、パウロをばかにして、伝道の邪魔をするユダヤ人もますます増えてきました。

そんな時、とてもにぎやかなギリシアの主要都市コリントで、天幕作りをしていたクリスチャンのアクラと妻プリスキラに出会います。二人はつい最近、クラウデオ帝のユダヤ人追放令のため、イタリアから追い出され、コリントへやってきたばかりでした。パウロは信仰の友だちに出会えて、何と力づけられたことでしょう。天幕作りの職人だったパウロは彼らの家に住み込んで、一緒に天

幕作りをしました。そして、安息日になるとユダヤ人の会堂に出かけて行って、ユダヤ人だけでなくギリシア人にも、イエス様を信じるようにと説得していました。

働きながら伝道をしていたパウロのところへ、シラスとテモテがマケドニアの諸教会からの献金をもって訪ねてきました。パウロはその献金に支えられ、伝道に専念できるようになりました。

パウロが会堂で、「イエス様こそ、神の子キリストです。」と力強く宣べ伝えていた時のことです。またもやユダヤ人たちがやってきて、パウロに反抗するばかりか、イエス様のことをのしりました。パウロは我慢できなくなって、縁をきることを示すために上着のちりをふりはらい、「あなたたちが滅びるのは私のせいではありません。これから私は異邦人にイエス様の福音を伝えます。」と言いきって、会堂を出て行きました。

会堂のすぐ隣には、神を敬うローマ人テオ・ユストの家がありました。パウロはそこで泊めてもらいながら伝道を始めると、会堂司のクリスボ一家や多くのコリント人が洗礼を受けるようになりしました。しかし、パウロの心には、いつも不安と恐れが一杯でした。いつまたユダヤ人に攻撃されるかわからないと、伝道することがだんだん怖くなってきたからでした。

ある夜のこと、主は幻の中でパウロにあらわれ、「恐れるな。やめてはいけな。キリストの福音を語り続けなさい。わたしがあなたといつもいっしょにいるよ。この町にいるのは、あなたを襲う者たちではなく、わたしを信じる人が大勢いるの

だから安心しなさい。」と、励まして下さいました。勇気づけられたパウロは、それから1年6ヶ月もそこに住み、神様の言葉を多くの人々に教えました。

### 学ぶべき真理

クリスチャンになったパウロが、たくさんの人たちにイエス様を伝えると、彼の邪魔をする人たちもますます増えてきて、彼は恐くなってきました。しかし、イエス様は、「恐れるな。あなたには、わたしがついてい。この町には、わたしの民が大ぜいいる」と励まし、伝道する勇気を与えて下さいました。

### 生活の適用

あなたはお友だちに、イエス様のことを伝えることができますか。恥ずかしかったり、恐かったりして、やめちゃったことはありませんか。さあ、イエス様から言葉と勇気をいただいて、お友だちや家族に、イエス様のことを伝え続けましょう。

### 結論

あなたは、イエス様のことを伝える勇気がありますか。恥ずかしかったり、怖がりしたこと素直に認めて、神様に、「伝える勇気を与えて下さい」とお祈りしましょう。イエス様は聖書のみ言葉をとおして、「恐れるな。あなたにはわたしがついていよ」と励まし、勇気を与えて下さいます。そして、パウロのように、イエス様のことをたくさんの人に伝えることができるようにしていきましょう。

## 第三課 義の冠が

聖書 II テモテ 四・1-8

暗唱聖句 「わたしは戦いをりつばに戦いぬき、

走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。」

(II テモテ 四・1)

目標 迫害と困難の中も、神のみに立つ

日まで戦い抜こう。

### 導入

パウロはイエス様のことを伝えることに、一生懸命でした。たとえ捕まえられたとしても、ろう獄の中から手紙を書いて伝えました。神様はそんなパウロに、天国でどんなごほうびを用意して待っていて下さるのかな。

### ストーリーを語る

一生懸命に福音を伝えていたパウロは捕らえられ、ろう獄に入れられても、めげずに諸教会や愛弟子に手紙を書き、イエス様のことを伝えました。そして、釈放されたらすぐに出かけて行き、力強く伝道したのです。

パウロはローマ皇帝ネロのおきさきのひとりをクリスチャンに導きます。しかし、そのことで皇帝からねたまれて、また捕まってしまいました。今度はもう、釈放はありません。殺されるのを待つばかりでした。

パウロはひとり寂しくろう獄にいました。死を直前にした彼は、紙とペンを用意してもらい、愛する信仰の後継者テモテに手紙を書き始めました。

「神とキリスト・イエスのみ前で、心からお願ひします。愛するテモテよ。み言葉を学び、教えられ、従うだけではなく、キリスト・イエスの十字架のみ言葉（I コリント・17、18、23）を大胆に宣べ伝えなさい。どんなにひどい目に合わされたとしても、イエス様が一緒にいて下さるのだから、忍耐強く福音を教えてあげなさい。罪を犯していても分らない人には、罪を責めて悔い改めに導き、間違っているなら戒め、元気がないなら慰めてあげなさい。

人々は自分の罪を知ろうともせず、十字架のみ言葉を捨ててしまおうでしょう。自分の罪が分からなくてもイエス様と呼べばいい、神の愛が分かればいいなどと言って、心からの悔い改めをせず、喜んでイエス様に従わなくなります。自分に都合のいい話をする先生を求め、自分が聞きたいことだけを聞くようになるでしょう。そしてとうとう、本当の福音から、神様から離れてしまいます。

しかし、あなたは宣教のために、どんな苦しいことが起こっても、受ける苦しみを恐れてはいけません。油断せず、十字架のみ言葉を語り続けなさい。私にもそのような時がたくさんあったが、いつもイエス様がそばにいて励まし、勇気を与え、支えて下さったから、伝道を続けられたのです。私にはもうやり残したことはありません。力いっぱいイエス様のことを宣べ伝えました。天国で神様が『よくやった』と、義の冠を用意して待っていて下さいます。義の冠は私だけではなく、あなたにも、イエス様を心から信じ、待ち望んでいる人々にも与えられるのです。私はイエス様にお会いする日がとても楽しみです。」

パウロは最後の力を振り絞り、今しか愛弟子テモテに伝えられない大切なことを書き残し、殉教するまでイエス様のことを宣べ伝え続けました。

### 学ぶべき真理

パウロがどんなにいじめられ、投獄されても、伝道を続けられたのは、イエス様が励まし、勇気を与え続けて下さったからでした。そして、イエス様を信じ、十字架の言葉を伝え続けたパウロには、神様が天国で義の冠を与えようと待っていて下さったのです。

### 生活の適用

あなたも、イエス様を信じたパウロのように、天国に行けるかな。どんな苦しいことがあっても、イエス様のことを伝え続けたパウロのように、神様から義の冠をいただけるかな。あなたもイエス様を信じて、どんなにいじめられても、ののしられてもイエス様と共に歩みましょう。そして、天国のごほうびである義の冠をあなたのために用意して、待っておられる神様のことを覚えて、イエス様と共に励みましょう。

### 結論

イエス様を自分の救い主として信じるなら、パウロのように、イエス様のことを伝える喜びに満ちあふれます。あなたを通して、家族や友だち、周りのいろんな人たちがイエス様を知って、信じて天国に行けるとしたら、なんとすばらしいことでしょう。神様はあなたのために、義の冠を用意して、待っていて下さいます。神様の前に立つその日まで、イエス様と共に進みましょう。



1. <sup>なか</sup>  の中から、ことばをみつけてお話をかんせいしましょう。

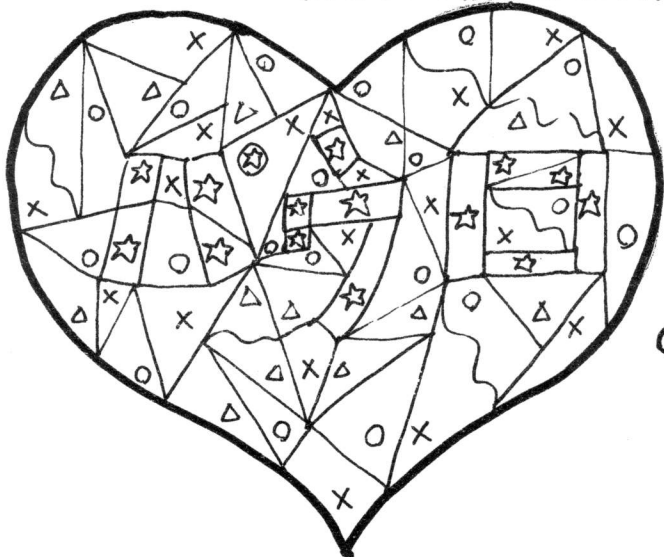
サウロは、イエスさまが  でした。イエスさまを信じる人たちを   
 していました。ところがある日、また人をいじめるため、 に乗って   
 の町の外を走っていると、まぶしい  にてらされて、たおれてしまいました。  
 そして目が見えなくなっていたのです。そのとき  のやさしい声がきこえました。  
 「あなたの目は  にお祈りしてもらおうといやされます。」そのとおりにさ  
 れたサウロの心も、いやされてイエスさまが  にかわりました。

<sup>だい</sup> <sup>うま</sup> <sup>ひかり</sup> イエスさま・大すき・馬・光・いじめ・タマスコ・大きらい・アナニヤさん



2. サウロさんは <sup>な</sup> 名まえもかわりました。

<sup>い な</sup> なんと  
 と言う名まえになりましたか？  
 (☆をぬってね。わかるヨ！)



3. だれでもイエスさまによってかわることができ  
 ます。そのやくそくのみことばを書きましょう。

<sup>み こ</sup> 御子 ○○○○の○が、  
 すべての○○からわたしたちを  
 ○○○○のである。

(1ヨハネ1の7)

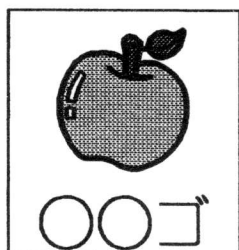
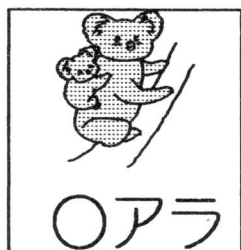
③きょうのおいのり

「わたしをかえて、<sup>かみ</sup> 神さまのおやくにたてるようにし  
 てくださるイエスさまの<sup>あい</sup> 愛をかんしゃします。」



1, パウロさんはどこの町へ行って、イエスさまをお伝えしたのでしょうか？ 町の名まえを書いてね。

(ヒント：下の絵の○をつなぐとわかるよ！)



こたえ  
○○○○○

2, パウロさんの心がよくなった時、イエスさまが声をかけて下さいました。なんという言葉でしたか？

(○にひらがなでかいてね！)



「○○○○○な。○○○○○つづけよ、  
○○○○○いるな。○○○○○には、  
○○○○○がついている。」 (使徒18:9)



3, パウロさんは勇気が出たので、イエスさまのことをみんなに伝えました。あなたは誰にイエスさまのこと

とお伝えしたいですか？ その人の名まえをかいてね！

(3人じゃあ、たりないね？！)




できるかな？

(今日のお話にてできた人、7人いるよ)

おまけ クイズ	パ	ウ	ロ	カ	ユ
	ク	ン	ア	ス	ル
	コ	リ	ト	ク	シ
	プ	リ	ス	キ	ラ
	テ	モ	テ	ポ	ス

(○でかこんでね！)

③ きょうのおいのり

「かみさま、イエスさまのことをたくさんのおともだちに  
おつたえできるように、わたしをおたすけください。」

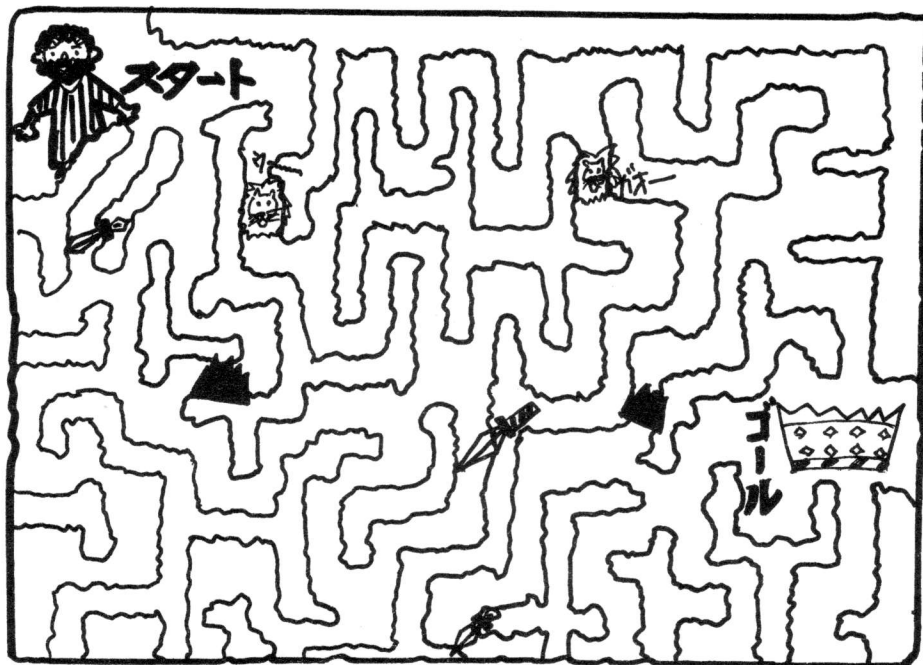
アーメン



# <sup>か</sup> <sup>ぎ</sup> <sup>ゆう</sup> <sup>だい</sup> <sup>か</sup> <sup>ぎ</sup> <sup>かんむり</sup> 下級第3課 義の冠が

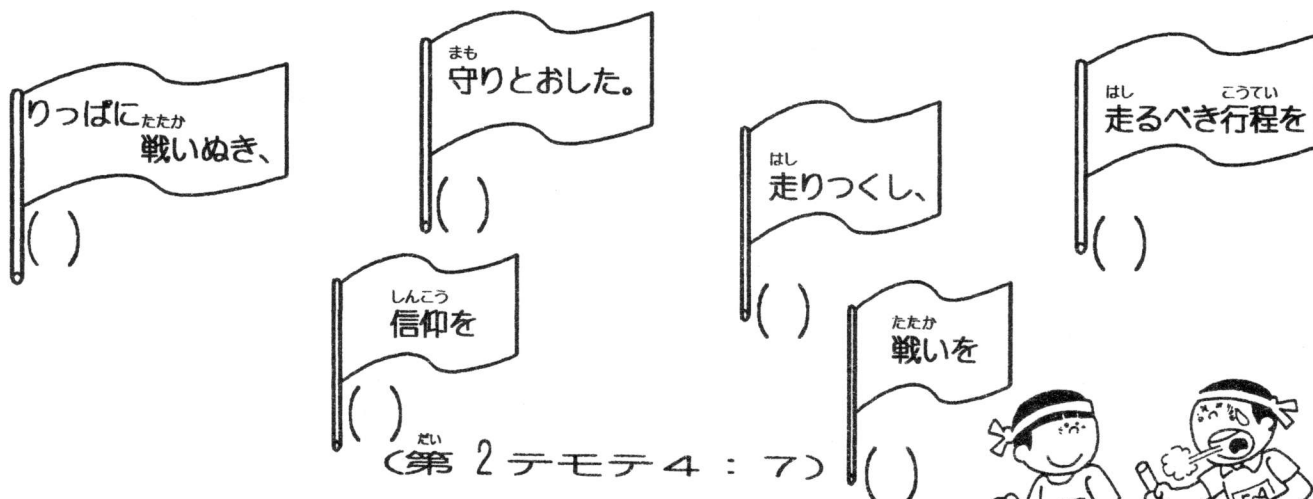
『第 2 テモテ 4 : 1 ~ 8』

- 1, パウロさんは、いろんなくるしいことにあいましたが、よろこんでイエスさまのためにはたらきました。  
 そして、さいごにイエスさまから何をいただきましたか？ めいろをすすんでこたえを見つけてね！



こたえ・義の〇〇〇〇り (スバラシイね。天国ですごーい ごほうびがあるんだよ！)  
 (がんばらなくっちゃあ！！)

- 2, きょうの金言です。正しいじゆんに、ばんごうをつけて、おぼえましょう。



## ③ きょうのおいのり

「かみさま、わたしも、イエスさまのおしごとをさいごまで  
 がんばりつづけられるよう、おまもりください。」  
 アーメン



# ＜中級＞ 第1課 やみから光へ

聖書 使徒行伝9章1－19節



1、サウロははじめ、どんな人でしたか？ 使徒行伝9章1節、2節を見て、空白をうめよう。

「さてサウロは、なおも( )の( )に対する( )、  
( )の息<sup>いき</sup>をはずませながら、( )のところに行って、  
( )の諸会堂<sup>しよかいどう</sup>あての添書<sup>てんしよ</sup>を求めた。それは、この( )の者<sup>しだい</sup>を  
見つけ次第、( )の別なく( )あげて、( )に  
ひっぱって来るためであった」

(しつもん)サウロは、イエスさまを信じている人にどうしたかな？

①しんせつにした ②いじめた

2、サウロにおこったこと

①ダマスコ近くでおこったことはなんですか？

1、馬がこけた 2、山から石が落ちてきた 3、地震<sup>じしん</sup>があった  
4、天から光がさしてきた 5、ラッパがなった 6、地に倒れた  
7、呼びかける声を聞いた。(正しいのに○をつけよう)

②サウロが「主よ、あなたはどなたですか」と聞いた時、答えたのはだれですか？

③(9:8-9)から、サウロになにがおきたか、書いてみましょう。

3、サウロはそのあと、おいのりをしました。どんなことをおいのりしたのだろう。

あなたがサウロなら、どう、おいのりしますか？

わたしは  
少しも悪  
くありま  
せん

だいにし  
大祭司<sup>だいおし</sup>が  
みんな悪  
いのです。

イエスさ  
ま、ごめん  
なさい。

知らないこと  
とはいえ、わ  
たしはたいへ  
んな大きな罪<sup>つみ</sup>を  
おかしました

4、サウロのために手をおいて、おいのりしてくれたのはだれ？

(ヒント) あっ！ ? こたえ( )

※ 先生に手をおいてもらって、いっしょにお祈りしましょう。





# <中級> 第2課 <sup>も</sup>燃える宣教

聖書 使徒行伝18章1-11節



聖書を読んで、ワークをしよう!!

1、パウロは( )を去<sup>さ</sup>って、( )へ行った(1節)

2、パウロさんの職<sup>しよくぎよう</sup>業はなにでしたか(3節) (○をつけてね)

- ①お魚をとるりょうし ②税金を集める取税人<sup>ぜいきん しゆぜいにん</sup> ③お医者さん<sup>いしや</sup>  
④船<sup>ふね</sup>の船長<sup>せんちよう</sup>さん ⑤天幕<sup>てんまく</sup>(テント)を造る人 ⑥学校の先生

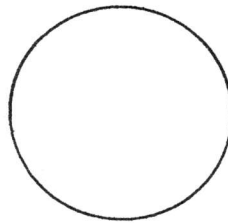
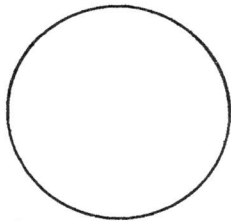
3、でもパウロさんの本当のお仕事は、神様の恵<sup>めぐみ</sup>み=イエスさまの福音<sup>ふくいん</sup>を伝えること(伝道<sup>でんどう</sup>)でした。本当のお仕事というのは、神さまがくださるお仕事です。  
それで、パウロさんは、一生懸命<sup>いっしょうけんめい</sup>伝道しました。でも…

①パウロさんが伝道した時、人々はどうしましたか(6節)

(顔でかいたらどんな顔? 下の丸を顔と思ってかいてみてね)

A、ユダヤ人=(5-6節)

B、コリントの人=(8節)



4、使徒行伝18章9-10節を完成しよう。

「すると、ある夜、( )のうちに( )がパウロに言われた。  
『( )、( )、( )。あなたには  
( )がついている。だれも( )を襲<sup>おそ</sup>って、( )  
を加えるようなことはない。この( )には( )が大ぜい  
いる」

5、パウロさんは、その声を聞いて、どうしましたか。(○をつけてね)

- ①いやになって、家のほうに帰っていった。  
②長いこと、コリントの町に住んで、イエス様のことをみんなに  
お話した。

6、あなたは、きょうのおはなしを聞いて、神さまは、あなたには、  
どうしてほしいと思っておられるでしょうね。

## <中級> 第3課 義の冠が

聖書 テモテへの第二の手紙4章1-8節



1、4章7、8節を<sup>よ</sup>読んで、下の<sup>みことば</sup>を完成しよう。

「わたしは戦<sup>たたか</sup>いを( )に戦<sup>はし</sup>い( )、走<sup>はし</sup>るべき( )を  
( )つくし、( )<sup>まも</sup>を守りとおした。  
( )や( )の( )がわたしを( )ばかりである。

2、パウロさんは今や、どんな<sup>かんむり</sup>冠をいただけると言っていますか (○をつけて)

- ①花の冠    ②金の冠    ③義<sup>ぎ</sup>の冠    ④羽<sup>は</sup>根<sup>ね</sup>のインデヤンの冠  
⑤王の冠    ⑥コックさんの冠    ⑦命の冠    ⑧いばらの冠

3、その冠はだれからもらうのでしょうか。

4、その冠をもらうために、パウロさんはテモテさんに、<sup>ひけつ</sup>秘訣を教えましたよ。

それはどんなこと? 2節、5節から考えましょう。

①御言<sup>みことば</sup>を宣<sup>の</sup>べ伝<sup>つた</sup>えなさい。

②

③

④

⑤

5、その冠は、パウロさんだけが  
もらうではありません。では、  
どんな人がその冠をもらえるの  
でしょうか。先生やクラスの  
みんなと話し合ってから、下に  
書いてください。

6、あなたが冠をいただいたらどんな  
感じでしょう。下に書いて見てね。

<お祈りしましょう>

## 上級 第1課 やみから光へ

聖書 使徒9：1～19 暗唱聖句 Iヨハネ1：7

☆暗唱聖句をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう。

--

- ① パウロは、大きらいなクリスチャンをいじめていました。そして、自分は正しいと思っていたのです。私たちも本当はよくないことなのに、平気でしてしまっていることはないでしょうか。あると思う人はどんなことがありますか。

- ② パウロは、クリスチャンをはくがいするために、ダマスコまで追いかけるほどクリスチャンをにくみました。あなたは人をにくいと思ったことはありませんか。

＊ あります      ＊ありません      ＊わかりません

- ③ そのダマスコの近くまで来たとき、あることがパウロに起こりました。それは何ですか（3～7節）。

- ④ 天からの光りと声を聞いたパウロは、イエス様が主だとわかりました。どうしてわかったと思いますか。

④パウロの「主よ、あなたは、どなたですか」という質問に、イエス様が答えられたから。

④イエス様のお弟子に教えてもらったから。

- ⑤ イエス様に会ったパウロは、それまで自分が罪深いこと、悪いことをしてきたことに気がつきました。あなたは、聖書を読んで、教会学校の先生のお話を聞いて、自分の罪深さ、悪いことに気がついたことがありますか。あったら話してみてください。

- ⑥ ダマスコで目が見えなくなったパウロは、どのようにして見えるようになりましたか（10～12節）。

- ⑦ 最初、クリスチャンをはくがいしていたパウロを変えられたイエス様は、今も、神様に逆らったり、親に逆らったり、意地悪したり、わがままだったり、悪いことをしている人を変える力があると思いますか。

＊はい      ＊いいえ      ＊わかりません

- ⑧ イエス様を信じる前と、信じた後では、パウロはどんなふうになりましたか。あなたにもそのような体験がありますか。あったら教えてください。

## 上級 第2課 炎の宣教

聖書 使徒18:1～11 暗唱聖句 使徒18:9, 10

☆暗唱聖句をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう。

--

① コリントの町はどこにありますか。また知っていることがあったら話してください。

- ・アメリカ ( ) \*地図で位置を調べましょう。
- ・ヨーロッパ ( )
- ・アフリカ ( )

② パウロは何をしながら伝道しましたか(3節)。

---

③ マケドニアから来た友だちは誰と誰でしたか(8節)。

---

④ イエス様の救いを語ったパウロの話を聞いた人たちは、どんな反応をしましたか(6～8節)。

- ①誰もがパウロの話を喜んで聞き、イエス様を信じた
- ②話を聞いた人は全員、反抗して、イエス様を信じなかった
- ③話を聞いて、イエス様を信じる人もいれば、信じない人もいた

⑤ 家族一同と共にイエス様を信じた人は誰でしたか(8節)。

---

⑥ イエス様は、パウロに「恐れるな。語り続けよ…」と語られました。ということは、語るときに、恐れることがあるということです。あなたは、イエス様を家族や友だちにお話しするときに、恐れることはありませんか。それはどうしてですか。

---

⑦ イエス様の救いのことを、あなたならはどんな人たちにお話しできますか。

- ①家族(祖父、祖母、父、母、兄弟)
- ②友だち
- ③お話しできない

⑧ あなたはこれまで、イエス様を伝えて、信じてくれた人がいますか。また、その反対に反抗した人がいますか。その時のことを聞かせてください。

---

## 上級 第3課 義の冠が

聖書 IIテモテ4：1～8

暗唱聖句 IIテモテ4：7

☆暗唱聖句をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう。

--

- ① イエス様を信じたあなたに、これまでどんな苦しみや誘惑がありましたか。
- ・ いじめにあった ( )
  - ・ 神様の救いをうたがった ( )
  - ・ 友だちに「教会学校に行くな」と言われた ( )
  - ・ その他 ( )
- ② その苦しみや誘惑に勝つためには、どうしたらよいでしょう。
- ① 誘惑にあったら、さからわずに言うことを聞くこと
  - ② できるだけ苦しみ会わないように、みんなに調子を合わせる
  - ③ 教会に行くこと。聖書を読むこと。祈ること。
- ③ パウロはどんなに苦しくてもはくがいを受けても、イエス様を伝えることをやめませんでした。それはなぜだと思いますか。
- \_\_\_\_\_
- ④ あなたは、イエス様のことを伝えることをしたくないと思ったことはありませんか。それはどうしてだったのでしょうか。
- \_\_\_\_\_
- ⑤ どうしたら私たちは、信仰を守り通すことができるでしょうか。
- \_\_\_\_\_
- ⑥ イエス様を伝えるときに、苦しみやなやみがありますが、それでは、その逆に喜びは何があるのでしょうか。
- \_\_\_\_\_
- ⑦ あなたはこれまで、何か良いことをしてほめられたことがありますか。そのときのことで、気持ちを聞かせてください。
- \_\_\_\_\_
- ⑧ 信仰を守り通した人に何があたえられるのでしょうか。
- \_\_\_\_\_